

ボツワナだより



▲ボツワナの伝統布Leteisi：
アフリカの布というと、カラフルで
大判な柄を思い浮かべる人も多いと思
いますが、ボツワナの布は一味違いま
す。Leteisi、もしくはGerman Print
と呼ばれ、19世紀にドイツから南ア
フリカ共和国のケープタウンを經由して
伝わったものだそうです。

アートなボツワナ

ボツワナへ来て、早いもので1年が過ぎようとしています。この間に
出会った、知られざるボツワナの芸術を紹介します。

① 赤土でできた陶器



◀私の住むモホディツアナ地域の赤
土を使った陶器です。軽くて熱にも
強く扱いやすいです。側面の模様は
ボツワナの伝統家屋の壁に描く絵を
模しているそうです。落ち着いた風
合いが、和食にも合いそうです。

② 村の生活を描いた織物



▲設計図は無く、頭の中にあるデザ
インを頼りに、一本一本全て手作
りで織り込んでいくそうです。この
作品は村の結婚式を表しています。

③ 椰子と草木染めのカゴ



▲ボツワナで最も古い伝統工芸。紀
元前にケニアなどから伝わったと言
われています。幾何学的な模様や動
物のシルエットなどがあります。

④ ビーズアクセサリ



◀伝統衣装にこのようなビーズア
クセサリーを合わせます。ビーズア
ートはなんと74,000年前からあり、当
時はダチョウの卵が原料だったそう
です。現代はお馴染みのガラスやプ
ラスチックのビーズで作成します。



▲服を仕立ててもらっている様子：
アフリカの多くの国では服の仕立
てが一般的です。気に入った布を
買い、仕立て屋に持って行き、採
寸し、「こんなデザインにして」と
伝えます。世界に一つだけの服
は、単純なものであれば一週間
くらいで完成します。

ボツワナの小学校

～皆さんはどっちがいいですか？～

基本データ

- 3～5歳：Preschool (幼稚園)
- 6～11歳：Primary School (小学校)
- 12～14歳：Junior Secondary School (中学校)
- 15～17歳：Secondary School (高校)
- 18～21歳：Bachelor (大学・学部)

ボツワナの教育制度です。もちろん日本と同様、大学ではなく専門学校へ行ったり、高卒で働いたりする人もいます。義務教育は高校までで、その間の学費は無料です。以前書かせていただいたように、ボツワナはダイヤモンドの利益により、他のアフリカ諸国に比べ、教育費はじめ国が公共サービスにかかる費用が多くなっています。

- 1学期：1月10日～4月4日
- 2学期：4月25日～8月17日
- 3学期：9月5日～11月28日

また日本と同じく3学期制ですが、学期休みが長いのが特徴です。

1クラス30人前後ですが、教室数が足りず、多くの小学校が午前・午後のシフト制をとっています。それでも溢れる生徒がおり、「青空教室」をやっている学校も少なくありません。

日本にない教科も！

5BLUE		DAILY PLAN 2022									
		0800	0830	0900	0930	1000	1030	1100	1130	1200	
MON	AME	MATHS	ENG	ENG	SCIE	SCIE	AGRIC	AGRIC	CAPA	CAPA	
TUE	MATHS	ENG	S/STU	S/STU	SETS	SETS	AGRIC	AGRIC	SETS	SETS	
WED	G/C	AME	MATHS	CAPA	CAPA	AGRIC	AGRIC	SCI	S/STU	S/STU	
THU	MATHS	CAPA	CAPA	SETS	SETS	AGRIC	AGRIC	ENG	SCIE	SCIE	
FRI	G/C	AME	MATHS	MATHS	COMPO	COMPO	ENG	ENG	SCIE	SCIE	

5年生の時間割です。国語であるツ

ワナ語、英語、数学、理科、社会、芸術、作文、農業、宗教モラルなどを学んでいます。1コマは30分です。

英語は1年生から！

1年生から教科として英語を学習し、4年生からは全ての教科が英語で教えられます。このため、多くのボツワナ人は流暢な英語を話せます。一方で、英語の理解度＝全教科の理解度に繋がってしまうため、英語で教わることのできる幼稚園に通わせる親もいます。実は義務教育でも留年があるので、歳の異なる生徒が同じクラスに居ることも珍しくありません。

教科書はあるけど・・・



教科書は学校の所有物で、生徒が持って帰ることができません。授業の時だけ参照して返却しています。

この黒板、何の授業でしょう？



正解は、音楽！音楽記号の意味や、楽器の名前などが書かれています。

生徒は楽器を演奏することはおろか、本物を見たり、その音色を聞いたりすることができません。

給食は2回？



学校により違いはありますが、登校直後の7:00頃にパンやリンゴなどの朝食、放課後の11:30頃に豆の煮込みやゆで卵等の昼食を食べます。生徒たちはお弁当箱とスプーンを持参し、先生や給食スタッフが1人ずつ支給します。なんとこの給食費も無料です！日本の給食ほど栄養バランスは整っていませんが、子どもたちの食を支えているのは間違いないでしょう。しかし給食を食べずに、学校の外で売られているお菓子を買って食べる子もいます。

今も残る体罰・・・

最もショックだったのが、教師から生徒への体罰が平然と行われていることです。宿題を忘れた、授業中に私語をした、答えを間違えたなどの時に、木の棒で手や背中やお尻をカ一杯叩くのです。私は当然体罰をしません、普段体罰で制御されている子どもたちが騒がしくなった時は、いくら言葉で諭しても静かにはなりません。

ボツワナでうどん教室を開きました！

「ボツワナでうどんを振る舞う」というのが、メインの任務以外に成し遂げなかったことでした。赴任1年を迎えようという頃、ようやく達成できました。これで胸を張って香川県に帰ると、安心していきます。

知人が運営する多国籍文化イベントに出展できることになり、本当に幸運でした。うどんの麺は小麦粉と塩と水でできますが、こねる加減が難しいです。納得いくまで練習し、英語でレシピも作り、本番に臨みました。



「次は足で踏みます！」と言うと驚きながらも熱心に踏んでいる来場者たち。



小さなイベントだったにも関わらず、計14人がうどん作りに参加してくれ、大忙しでした。濃い味付けを好むボツワナ人にウケるか心配でしたが、皆さん「美味しい！」と食べてくれました！